

★ 日本文学は中国文学の影響を大きく受けています。それは、文字を中国の古い書物から得たと、公文書（公の責任ある立場の人間が作成した正式な文書）は漢文で書かれていたこと、そのために、漢詩・漢文を学ぶのが学問の基本であったことなどによりまします。ここでは、『源氏物語』や『枕草子』などに多く引用されている「長恨歌」を紹介します。

やってみよう

《解説》

◆ 「長恨歌」は白居易（白楽天）の七言古詩です。唐の玄宗皇帝と楊貴妃との実話を基に百二十句にも及ぶ七言古詩を書きました。ここに紹介するのは、その最後の章段です。味わって音読してみましょう。

読めたら
色をぬろう！



《読んだ回数》

唐の玄宗皇帝は、若く美しい楊貴妃との恋に夢中になり、政治に身が入らず、国が乱れてしまいます。このままでは国が滅んでしまうと部下に迫られた玄宗皇帝は、楊貴妃の命を奪ってしまいますが、楊貴妃の死後、部下に命じて、彼女の魂を仙界（不老不死の仙人の住むところ）に探しに行かせたそうです。

臨 別 慇 懃 重 寄 詞
詞 中 有 誓 兩 心 知
七 月 七 日 長 生 殿
夜 半 無 人 私 語 時
在 天 願 作 比 翼 鳥
在 地 願 為 連 理 枝
天 長 地 久 有 時 尽
此 恨 綿 綿 無 絕 期

わか のぞ いんぎん かさ ことば よ
別れに臨んで慇懃に重ねて 詞を寄す
シチユウ チカイ あ リョウウ し
詞中に誓ひ有り 両心のみ知る
ガツ
しちぐわつなのかちやうせいいでん
七月七日長生殿
やはんひとな しこ ととき
夜半人無く私語の時
てん あ ねがワ ひよく とり な
天に在りては願はくは比翼の鳥と作り
ち あ ねがワ れんり えだ な
地に在りては願はくは連理の枝と為らんと
チョウ キユウ
てんちやうちきやうときあ つ
天長地久時有りてか尽くるも
こ うら めんめん た きな
此の恨みは綿綿として絶ゆるの期無からん

暗唱

朗読

合計
回

何度も

5回

4回

3回

2回

1回